

1. 札内高原館

さつないこうげんかん

北海道 登別市

のぼりべつし

●地場の1次産品の高付加価値化に向けて、食品加工工場として活用

概要

用途： 農畜産物加工研究施設
廃校理由： 学校統廃合のため
廃校年： 平成10年
旧学校名： 札内小中学校

建物

構造： 補強コンクリートブロック造1階建て
建築面積： 640㎡
延床面積： 640㎡



財源

整備： 地総債、振興補助金（登別市農業振興研究会加工研究事業費）、地方公共団体の一般財源
運営維持管理： 市の補助金、委託料

運営主体

名称： 登別市 札内高原館
形態： 登別市農業振興研究会

運営状況

主な利用者： 地域住民
利用者数： 1,600人／年

調査担当者のコメント

- 本施設は、主に付加価値を高めるようなソーセージ、チーズ、アイスクリーム等の加工食品を製造し、製品として提供していけるような整備を目指している。
- 現時点においては周辺の畜産農家が主体となり各部会を構成し研究を重ね、地元住民が一丸となって製品化を目指しており、地域産業の活性化に大きく貢献することが期待される。
- 製品は、地元の原材料を活用、高品質に仕上がっており、ギフトセット等大変好評を得ている。

管理者から一言

- 開館以来3カ年の基礎的技術開発や商品開発の期間を経て、今後は「地産地費（地域生産地域消費）」や「地場産品」の製造に重点を置いた運営が行われ、観光産業と連携して地域酪農業への貢献を期待されている。

場所・連絡先

住所： 北海道登別市札内町73番地
アクセス： JR室蘭・千歳線登別駅より車で15分
Tel/Fax： 0143-85-3184 / 0143-85-3184
電子メール： kogenkan@saturn.plala.or.jp
HP： <http://www.city.noboribetsu.hokkaido.jp/kogenkan/kogenkan/kogenkan.html>



○敷地の全景



○学校当時の面影を残す玄関



○地域住民によるソーセージ作りの様子

○札幌高原館でつくられている製品
(パンフレットより抜粋)



○工場内の様子

